

【2019年5月4日～2019年5月10日までの推移】

【1】先週の回顧

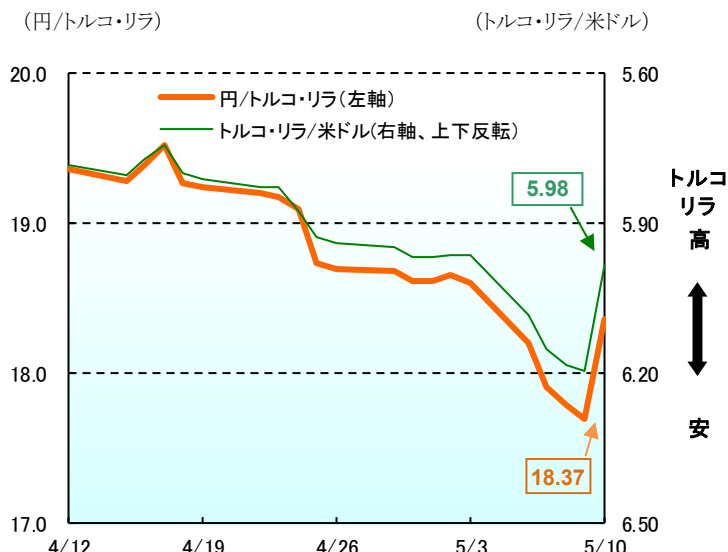
先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

先週は、5月6日（現地、以下同様）にトルコの最高選挙管理委員会がイスタンブールの市長選をやり直すと発表したことを受けて、トルコの民主主義に対する懸念が台頭し、トルコ市場は、為替、債券、株式のトリプル安となりました。これに対して、トルコ中央銀行は9日、資金供給手段である1週間物レポ入札を停止すると発表し、実質的に金融引き締めを行いました。また、トルコがロシアからのミサイルシステム購入を見直すとの報道もあったことから、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落幅を縮小させ、国債も金利上昇幅を縮小させました。

【2】今週の見通し

今週は、国外で米中貿易摩擦が再度激化していることにより世界的にリスク回避的な動きとなっているため、トルコの個別材料に対する注目度は相対的に低下すると考えています。なお、ロシアからのミサイルシステム購入見直し報道については当局から否定されたものの、その後延期を検討しているとの報道も出ています。一方で、イスタンブール市長の再選挙が予定されている6月23日まで政治的不透明感は払拭しにくいと考えられます。また、金融当局の金融引き締め政策も対症療法的であり、トルコ・リラが積極的に買われるとは考えにくく、今週も引き続き、トルコ・リラの下落方向に警戒する必要があると考えます。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年4月12日～2019年5月10日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】 (2019年4月12日～2019年5月10日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>